



高槻だより



- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の、友だちの、命を守る



子ども

子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざして。

後期がはじまりました。行事に学習に頑張っています。

10月16日木曜日から、後期が始まりました。始業式はリモートで行いました。この秋休みに見舞った、言葉で傷つき、拒食症になり、命を点滴でつないでいる友人の娘さんの話をしました。子どもたちには、言葉は相手を傷つける凶器にもなれば、相手を癒すことができるものにもなることや、言葉の暴力で、命を落とすこともある。自分の言葉で、相手を傷つけてしまうかもしれないことを知ってほしい。自分の命も相手の命も一つであることなどを話しました。

子どもたちには、傷つけられる側にも、傷つける側にもなってほしくないです。それは保護者の方も同じ思いだと思います。子どもたちが発する言葉や、私たちが発する言葉に敏感になりながら、学校生活を楽しくすごせるよう頑張っていきたいと思います。

後期もどうぞよろしくお願いします。



槻田川クリーンアップ作戦



10月19日日曜日、地域の方や保護者の方々と共に、槻田川クリーンアップ作戦を行いました。

毎年、5年生が中心となって、ホタルの飼育を池田さん梶栗さんご指導の下、行っています。そのホタルが毎年元気に育っていけるよう、この高槻の地域では、まちづくり協議会が中心となって、年3回、槻田川の清掃を行っています。3年前よりこの地域作業に子どもたち、保護者が一緒になって行うよう、学校行事として取り組んでいます。一昨年度は平日に。昨年度は雨天のため学校のみで平日に行い、今年度は日曜日に取り組むことができ、多くの地域の方や保護者の方と一緒に作業ができました。

1, 2年生は槻田川沿いの沿道の落ち葉拾いを、3, 4年生は中畑公園の落ち葉やごみ拾い、雑草抜きを。5, 6年生は、槻田川の中に入って、川沿いのごみや川中のゴミを拾いました。「〇〇のお母さん、一緒にしよう」や「おじいちゃん、ここにおちばがたくさんあるので、僕と一緒に拾いましょう。」「ゴミ袋もってきてもらってありがとうございました。」など、保護者の方や地域の方に声をかけながら一生懸命に作業を行う子どもたちを見て、ほほえましいなと思いました。お忙しい中参加してくださり、子どもたちと一緒に作業してくださった保護者の方、地域の方、本当にありがとうございました。

高槻小では、「高槻の町を見直そう、自然豊かな高槻の町を守ろう。」と、各学年がテーマを決めて、総合的な学習の時間に取り組んでいます。その一環に5年生はホタルの飼育を、また4年生5年生合同で、「通学路について安全な道を考えよう」と、学習に取り組んでいます。

地域の方や保護者の方にインタビューやお話を聞く機会も、これからあるかと思いますので、その時はまたお力をお貸しください。

きれいになった川に、今年も5年生が飼育しているホタルを放流します。

来年の6月、成虫したきれいなホタルに出会うのが楽しみです。

